



開催日時

2024年 3月16日(土) 12:00~13:00

会 場

第1会場 カナモトホール 1F 大ホール

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西1丁目

- 座 長 **江木 盛時 先生** 京都大学大学院医学研究科 医学専攻侵襲反応制御医学講座麻酔科学
- 演 者 松浦 亮 先生 東京大学医学部附属病院 腎臓·內分泌內科
- 当日券の配布はございません。詳細は、学会学術大会ホームページを ご覧ください。

学術集会ホームページ

https://www.jsicm.org/meeting/jsicm51/index.html





LS33

演題

急性腎障害:最近の知見と今後の課題

演者

松浦 亮 先生 東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科

急性腎障害(AKI) はICU で一般的にみられ、高い院内死亡率と関連がある。また遠隔期の予後も不良であり、慢性腎臓病への移行や透析導入のリスクになることが分かっている。

AKIに対する有効な治療薬はまだなく、AKIを予測もしくは早期発見を行うことが重要と考えられ、これまで多数のAKIバイオマーカーを用いた研究が行われてきた。バイオマーカーはAKIの発症を予測するだけでなく、AKIバイオマーカーに基づいた診療を行うことでAKIの発症率を抑制できることが報告されるようになった。また血清クレアチニンとバイオマーカーを組みあわせた新たな分類も提唱されている。

近年では機械学習やAI を用いた研究が増えてき

ており、これらの内容を紹介しながら、機械学習・AI が今後のAKI 診療にどのように変わっていくかを述べていく。

さらにAKIに対する腎代替療法についてもこれまでに処方量や開始時期などを検討したランダム化比較試験が複数行われた。しかし、これらの研究結果を踏まえても、コンセンサスを得た結論は導かれず、いまだに個々の症例に応じて決定していくのが現状である。また低血圧や電解質異常、カテーテル感染などの感染症などの合併症も注意しなければならず、これらの合併症が予後を不良にしている可能性も考えられる。加えて腎代替療法における新たな課題も生じており、今後の展望について議論していく。



バクスター株式会社 東京都中央区晴海1丁目8番10号 トリトンスクエア オフィスタワーX 9階 www.baxter.co.jp 問合せ先:リーナルケア事業部 03-4595-4750 血液浄化装置: プリズマフレックス 一般的名称: 多用途血液処理用装置 承認番号: 22400BZX00087000 区分: 高度医療機器 クラスII 特定保守管理医療機器